

山雲水月

発行責任者 龍源寺 住職 渡辺龍道



『仁叟寺誌』発刊の反響



↑上毛新聞 (5/26掲載)



↑読賣新聞 (5/28掲載)



↑群馬よみうり新聞 (8/11掲載)



↑中外日報 (7/5掲載)



↑吉井広報 (7月号掲載)



前号で紹介いたしました『仁叟寺誌』ですが、多くのメディアにて紹介され、大きな反響を呼びました。龍源寺の歴史も記載されており、檀信徒の皆様には是非御一読していただ

だきたく思っております。頒布価格は6,000円ですが、龍源寺檀信徒の皆様は5,000円にて頒布を予定しております。お問い合わせは、龍源寺もしくは仁叟寺までお願い申し上げます。

平成19年 龍源寺年間行事予定

- 1/1~1/3 年頭祈禱
- 1/3~1/7 年始挨拶
- ※2/3 大節分会
- ※2/15 釈尊涅槃会
- ※3/12 大般若・大施食会
- ※3月中旬 筆供養法要
- 3/18~3/24 春季彼岸会
- ※4/8 釈尊降誕会(花祭り)
- 4/29 大施食会兼蚕影山例祭法要
- ※6/23~6/24 第46回群馬緑蔭禅の集い
- 7/13~7/16 京浜地区檀信徒棚経
- ※7/23~7/24 第26回子供禅の集い
- 8/13~8/16 盂蘭盆会
- 9/20~9/26 秋季彼岸会
- ※10/20 参拝研修旅行
- ※12/8 釈尊成道会
- ※12/31 除夜会
- ※毎週土・日曜日 書道教室
- ※毎週水曜日 定期坐禅会
- ※隔週水曜日 梅花講稽古・華道教室
- ※は御本寺仁叟寺にて開催

吉井町佛教会五十周年記念事業開催予定



↑ 笑点でお馴染みの三遊亭好楽師匠

今年平成19年は、吉井町佛教会創設五十周年の記念の年です。佛教会こうふくじは現在、吉井町全佛教寺院22ヶ寺が参加。会長は本郷の弘福寺高橋隆光住職が勤められ、私も役員をさせていただいております。佛教会の創設わたなべしやつきょう

は、当時の仁叟寺住職であった渡辺石橋大和尚が尽力し、その初代会長となっております。渡辺石橋住職は龍源寺二十五世も勤められ、拙僧の曾祖父にもあたります。

吉井町佛教会では、今秋に吉井町産業文化会館にて、笑点でもお馴染みの落語家・三遊亭好楽師匠をお迎えし、五十周年記念事業を行う予定です。詳細が決まり次第、改めましてお伝えいたしますが、大勢の皆様方のご参集をお願いする次第です。

仁叟寺通信-21- スリランカ国との交流

去る4月18日（水）に交流のあるバーナガラウパッテッサ・スリランカ大菩提会長ご一行さまが仁叟寺へ来寺いたしました。老師のほか、スリランカ国の首相補佐官も来寺し、スリランカと交流のある寺院の視察を行いました。住職副住職の案内のほか、金子明総代長などが集まり関係者の皆様と昼食を交え、交流を行いました。後日、スリランカの主要紙に仁叟寺の記事が大きく紹介されました。『仁叟寺誌』にも記載があるように、スリランカとの国際交流は、寄贈された仏足石のほか多岐に亘ります。これからも仏教を軸とした草の根の国際交流を、地道にしっかりと行っていく所存です。



↑ 仁叟寺が掲載されたスリランカの新聞

みょうはつ

龍源寺探索-18- 妙鈹



みょうはつ
↑ 妙鈹

今回の龍源寺探索では、仏具である妙鈹の紹介をいたします。妙鈹はシンバルに似た打楽器の一種で、伎楽供養具の一。

そうはつ みょうはつ どうはつ

双鈹・鑊鈹・銅鈹ともいい、主に葬儀や施食会の開式や閉式時に使用されます。また十八拜差定など荘厳な儀式に於いても使用されます。

龍源寺の妙鈹は、銅製打金で造られています。作製年代は、明治時代であり、その当時の住職祥雲天瑞大和尚の銘が残されています。銘には「明治廿八年八月新調 上野国多胡郡多胡村 龍源寺什物 天瑞代 施主矢田村檀中 金井才十郎 金井梅吉 金井又五郎 木村シヤウ 木村ウタ」とあります。

房及び塗り直しの修復を私の代で行い、今でも現役で荘厳な音を醸し出しております。

ばいかこう

梅花講講員募集中

曹洞宗宗門には梅花講という組織がございます。正確には梅花流詠讃歌と申し、御詠歌を通して、御仏の教えに沿った生き方を実践いたします。

現在、住職が曹洞宗群馬県宗務所の梅花主事を拝命しております。勤務日は、毎週月水金曜日の週三日です。梅花講の群馬県内の事務全般ほかを司っております。特に今年は県梅花部設立50周年に当たり、多くの記念行事が予定されております。

残念ながら龍源寺には梅花講はございませんが、仁叟寺に梅花講が設置されており、講員14名が稽古に励んでおります。稽古日は隔週水曜日で、講師は仁叟寺寺族渡辺恵津子師範が勤めております。施食会や花祭りなど年中行事での奉詠のほか、県大会や全国大会、各種旅行などの企画も数多くございます。

龍源寺檀信徒では、田中さんが入講されております。講員さんは、女性の方が多いですが、老若男女問わず参加することができます。ご興味ご関心のある方は、当寺もしくは仁叟寺までお問い合わせください。



↑5月に行われた全国大会の様子
(会場、さいたまスーパーアリーナ)

秋の参拝研修旅行参加者募集中



↑ 昨年の参拝研修旅行
(於、新潟県林泉庵さま)

今年も恒例の秋の参拝研修旅行を行います。日程は10月20日の土曜日、参加旅費はお一人様9,500円の予定です。

今回は、仁叟寺の御本寺であり龍源寺の大本寺にあたるそうりんじ 渋川市中郷のかしょうざん 雙林寺さまへ拜登する予定です。ほか、天狗たいねいじ 様で有名なくえいじ 迦葉山さま、山門が重厚な泰寧寺さま、文化財を多数所蔵している空恵寺さまなど北毛の名刹古刹を廻る予定です。また、たくみの里というみなかみ町にある体験型観光施設にも伺い、秋の紅葉を楽しめればと思っております。是非とも、多くの方々の参加を希望いたします。お問い合わせは、当寺もしくは仁叟寺までお願いいたします。

りょくいん

緑蔭禅の集い及び子供禅の集い報告

今年も仁叟寺で、6月23日～24日に第46回群馬緑蔭禅の集いが、7月23日～24日に第26回子供禅の集いがそれぞれ行われました。東京方面からも参加者が来られ、緑蔭禅が45名、子供禅が41名集い、禅と自然に親しむ一泊二日の坐禅研修を行いました。ほか今年も、地元の剣道教室である中島道場、高崎経済大学、東洋大学など各種団体の坐禅会も行われました。

また、来年も引き続き行う予定です。

→ 精神を集中して
参禅する子供達



曹洞宗群馬県宗務所勤務について

住職が曹洞宗群馬県宗務所に勤務し、半年が経過いたしました。前任者の蛭谷師の引継ぎもあり、何とか執務にも慣れてきた今日この頃であります。

昨年12月に、梅花主事というお役を拝命いたしました。梅花主事とは群馬県内にある寺院（約四百ヶ寺）の梅花講についての事務全般を司る役であります。特に今年、5月に行われた全国大会が五十五回、10月に行われる予定の県大会が五十回と

なる記念大会となっております。

ほか、研修旅行、特派梅花布教講習、検定会など梅花にまつわる事務は目白押しとなっております。

宗務所執務日は、毎週月曜水曜金曜の三日となっております。また上記の通り、各種行事もあり、また副住職地である仁叟寺の寺務もあるので、龍源寺の寺務が遅れたり、連絡がつきづらくなってしまうこともあるかと存じます。特に電話は、龍源寺が留守の際には携帯電話へ転送されるように設定をしております。留守番電話だと思いきってしまう方もおられますが、切らずにそのままお待ちください。檀信徒の皆様には、何卒ご理解ご協力のほど、お願いする次第であります。

曹洞宗群馬県宗務所

〒370-0837

群馬県高崎市下横町1-7

電話 027-315-4141

FAX 027-315-4142

テレホン法話 027-315-4144

E-mail g-syumu@jcom.home.ne.jp

執務日 毎週月曜・水曜・金曜日



能登半島及び新潟県中越沖地震義援金について

皆さま既に報道などでご存知のことと思われませんが、去る3月25日に能登半島地震が、7月16日には中越沖地震が発生いたしました。

同震災について曹洞宗宗門では、救援物資の搬送、曹洞宗ボランティアによる作業、義援金の送付など迅速かつ早急に手配を行いました。龍源寺山内にもポスターが掲示してあります。龍源寺を通じ、義援金を送る事もできますので、希望される方は当寺までお問い合わせ下さい。

龍源寺では、三年前に起きた中越地震の際にも義援金を送らせていただきました。今回もそれに準じ、



災害に遭われた地域やご寺院さまに対し、ここに報告申し上げます。

行雲流水（編集後記）

編集人 住職 渡辺龍道

暦の上では秋となりましたが、残暑が厳しい日が続いております。皆様に於かれましては、体調に留意され、お身体ご自愛を祈念申し上げます。龍源寺報「山雲水月」夏号をお届けいたします。宜しく御査収ください。

